自動車のはん乱とともに、交通事故もうなぎ上りに多くなつている。

このような交通事故をなくするために、国民総運動を起すべきだとの声もきかれる現在である。

少しでも交通事故をなくするため、前回は取締りの立場からみた交通問題を取り上げたが、こん度は事故の被害者たちに、どうしたときに事故に会い、どのような注意を必要とするか、警察とタイアップして取り上げてみた。

しかし、ひき逃げにあつた人たちが集まらなかつたのは残念なことだつた。

私しはこんなときに 交通事故にあつた

手信号と確認を

Aさんの場合

自転車で会社に通勤しているが、事故をおこしたときは、後免の西町で電車の軌道よりに道の左側を通つて会社の前で急に左にハンドルを切つて、会社に入らうとしたとき 左うしろを除行してきたモータに追突されたもの、

この場合は、本人の不注意によるもので、手信号と確認して方向を転換することをしなかつたということも、事故を起こした原因であつた。

Bさんの場合

自転車で、一条橋を東に向つて進んでいたとき、前を行つていた三輪車が速度を落して除行したので、三輪車の右側へ出たところを前からきたトラックにはねられたもの。

＝三輪車のカゲになつて前からくるトラックが見えなかつたのに、不用心に確認をせずに飛び出したことが事故の原因となつた。

Cさんの場合

モーターで西進中、野田口で、前方で停車していた乗用車が突然方向転換を始めたため、どうすることもできなかつた。

スピードの出しすぎもあつたが、自動車の方も向きを変えるときは、充分注意して作動してもらいたかつた。

最近後免町で起こつた事故 車は電柱に激突し、重傷一軽傷二を出した。車体は大破した。原因はゲタばきの飲酒運転から。

一度に三人も

Dさんの場合

午後十一時過ぎ、鉄道の踏切りを歩いて渡りきつたとき、四十キロ以上の速さで後からきたモーターに追突された。私達は、右側を歩きしかも充分左側があいていたのに追突され、しかも一度に三人もけがをした、しかも、「しもうた、モーターがこわれた」と口走つたのには驚いた。

この場合Dさんたちは正当な道を歩いていた訳けであるから、自分達の方ではどうすることもできないことで、飲酒していたとはいえモーター乗りの方が除行し、踏切で一旦停車を実行すれば事故にならなかつたといえる。

Eさんの場合

朝の七時頃住吉通りで引返し運転の電車が来たので、北から丁字型にきた道から国道へ出たとき、まだ間があると思つたダンプカーに横断しかけたときにはねられ、四カ月の重傷を受け一時命があぶないと云れた程であつた。

この場合、ダンプカーが日頃から人通りの多い場所であるから除行すべきであるのに、反対にスピードを出しすぎていたことも原因であるが、被害者の方も道路を横切るときは、充分気を配ばり、急そがずに車を通してから横断すべきだあつた。

Fさんの場合

安全地帯のない停留所で電車から降りたところをうしろからきた自動車に、はねられたもの、

電車が安全地帯のない停留所に停車し、乗降客のあるときは、自動車が停車し、電車が動き出すまで持たなければならないことになつているが、必ずしも実行されていないことに事故の原因があつた。

このように交通事故は、すこしの心のすき間からとりかへしのつかない事故となることが多く、歩行者は歩行者の、車は車のルールを守つてこそ事故の起こらない日がくることだらう。

交通事故の死亡者は、刑事事件による死亡者の五倍を数える現在であつてみれば走る兇器といはれるのもうなずける。とくに飲酒による交通事故は数も多く、大きな事故の原因ともなつている。ますます交通量の増加しようとしている昨今、交通道徳を守る運動を一大国民運動とすることも大切ではなかろうか。

果樹の生産と需要の長期見通し

＝農林省より公表さる＝

四、ぶどう

37～41年にわたる期間の植栽面積（新植および改植）は、最近年の植栽面積のすう勢から計測すると、7千7百町程度になるものと見込まれる。

また、41年および46年の生産量は、現在の栽培面積に今後の新植見込面積を加えた栽培面積と見込み反収から計測すると34年のそれぞれ2・3倍に相当する27万トン、および3・6倍に相当する24万4千トン程度になるものと見込まれる。

（参考）41年および46年の需要見1量は25万6千トンおよび41万6千トン程度と計測される。

五、日本なし

37年～41年にわたる期間の植栽面積（新植および改植）は、最近の植栽面積のすう勢から計測すると、4千6百町程度となるものと見込まれる。

また、41年および46年の生産量は、現在の栽培面積に今後の新植見込面積を加えた栽培面積と、見込み反当収量から計測すると、34年のそれぞれ1・8倍に相当する36万3千トン、および2・4倍に相当する49万9千トン程度になるものと見込まれる。

（参考）41年および46年の需要見込量は、34万5千トン、および49万5千トン程度と計測される。

六、びわ

びわの栽培面積は、未だ戦前水準を回復せず、生産量は26年に回復したが、その後の伸びは緩まんで、最近はむしろ停滞的である、これはその栽培適地がかんきつと一致していてしかもそれより収益性が低く、かつまた凍霜害のため栽培上の安定性が低いことによるものと考へられる。

最近の新植は年30～40町程度で推移しており、将来の新植も当分漸進的でありこのため41年までの新植は280町程度となり、現在の面積にこの新植を加えると41年で3千4百町、また46年で3千6百町となる、これは34年に比べ1・1倍および1・2倍である。反当収量は増加傾向が続くものと見込まれるが、41年で2万8千トン、46年で3万3千トン程度であろう。

（参考）この結果計測した需要見込量と前記の生産の見通しをてらしてみると、41年においては生産量は2万8千トン程度、需要量は4万4千トン程度であり、また、46年においては生産量は3万3千トン程度に対し、需要量は6万2千トン程度であるから41年および46年ともに生産が需要を大巾に下廻ると見込まれる。

暑さ 寒さ

水は零度で凍るが、これから下の温度は大分ある我々の目に付くものではドライアイスが零下を少々下るとできる。これは炭酸ガスが凍つたもので町角のアイスクリームの販売容器の中に入つている。鉄工所で溶接に使用する酸素は空気を液体に冷して液から取つたものである。液体空気になると零下百度代に下るこの世の中にある最低温度は零下二百七十三度であつてこれより下の温度はない。飛行船などに充めるヘリユームガスを冷して液体にすると零下二百七十二度位に下がる。水は百度で沸とうする。炭火は七百度位である。鉄は千二百度位になれば溶ける。電気溶接の温度は約六千度である。これは太陽の表面の温度と同じであるこれ位になれば鉄は蒸気になるだから電気溶接をすれば、蒸気になつた鉄が固まつて小さな球となつて附近に飛びちるのがよくわかる。原爆の温度は一千万度もあるだろう。最近では実験室で二百万度も作れだした。この研究がもう少し進めば水爆の力が小きざみに取出せるので すばらしい世界があとづれることだろう最低温度は発見されているが最高温度があるのか或は無限なのか誰も知らない。これを発見すればノーベル賞間違いなしだが。　鉄空（ロケツト）

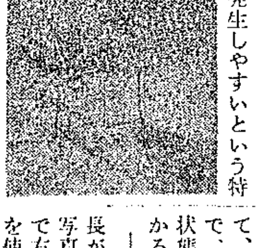
産業

毛根発育に効果

根揚げクワを使う

スギやヒノキは定植前に仮植する際、まず苗の下にクワを入れてスキ間をつくり親根の発育を止め定植後活着しやすいように毛根を発生させる。

しかし従来のクワは一枚刃であるため、根の損傷がひどく思うようにいかなかつた。ところが高知県林業指導所が考案した根揚げクワは三刃のもので構造と使用上の科学的な計算がなされているため使い安く、毛根を痛めることが少なく、毛根も発生しやすいという特長がある。



写真はそれを比較したもので右は三枚刃、左は一枚刃を使用したもの。

農薬過信の反省をせよ

日の暮れ方往診に急ぐと目にとびこむ虫の群れに悩まされる。一面田んぼにはもうもうとした白煙がたなびいている。むつとするような臭い、或いは涙がぼろぼろと出てきて仕方のない刺激の強い奴、そして百姓は汗だらけになつて、手拭で口や鼻をふさいでこれでもかこれでもかと、何か知れない粉末を撒きちらしている。虫は依然としてとびかつている。

夜私の家の外灯にはそれこそ何千何万という小虫が群らがつている。朝は彼らの屍がホラフキ男爵ならうず高く山をなしていると言いかねない位落ちている。ホリドールが輸入され、DDTやBHCが手に入れて私達はその効力にびつくりしたものだつた。しかし、それらを使用している中に虫共は段々それに死なないやからを残し始めて、今ではいくらかけられても平気の平座の連中が少からずいることは、実際使用している農民自らよく承知のことと思う。これらの農薬で姿を消したのは「坊ちやん」の「イナゴぞなもし」位ではあるまいか。そして、心配されていた天敵の方が先づ姿を消して行つた。

子供の頃胸おどらしておつかけて行つた「ヤマ」の姿なんか本当にアカツキの星の如く少くなつてきた。

自然界の状態を人間は自分の都合のよいように改造して行く力を持ち、またそれを失敗しながらもその失敗を土台にしてまた一歩という具合に進歩させて、現代を形づくつてきたことは確であり、また今後も私達は着実に自然界の改善に一歩一歩と改善の手を加えつつあり、かつ加えて行かなくてはならない。

併し 私達は自然界を改善して行く手段としては、自然界の法則を知り、之を利用して行くことによつて新しい世界を作り出すものである。

人間の創造というものはこういつた自然界の法則の利用であることを忘れてはならない。水爆原爆の恐しいエネルギーも人間が創り出したものではなく、もともとあつたエネルギーを出させるようにしたにすぎないエネルギー自体は自然界にあつたものだ。

さて話をもとに返して農薬で害虫を退治することについて考えて見たい。

これで害虫が「イナゴぞなもし」のように全滅した時は万々才だが、現在見るようにもう農薬で死滅しない害虫共がうようよしている事実を認識したい。

薬というものは必ずきかなくなる、今日本の名物になつている赤痢を考えてもよく分る。お年よりの方々なら知てるかも知れないが、

むかし六〇六号という梅毒の薬が出来て梅毒はこれで終りと喜んだのも束の間六〇六号ではビクともしない偉い奴が出てきた。ペニシリンが淋病にきいて世の粋人共が意を強うしたのもほんの一、二年間にすぎなかつたことも思い起していただきたい。全て薬はきかなくなる。

これは医薬に限らず農薬においても然りである。これは生物というものの性質でありこの原因の根本的なものは分ていないが、こういう事実のあることは分ている。日本人というのは薬好きな国民で有名である毎日テレビやラジオ新聞等できゝもしない薬が宣伝されそれが結構売れている。

赤痢の耐性菌が出来たと騒いでいるがその対策はDDTをかけて蝿を殺せとか手を洗えとかいうこと。

そしてこゝでも薬が大きな顔を出している。赤痢は蝿を食うことから起る。蝿の処理さへ出来るなら赤痢なんて、遠い昔語りになつてしまうだろう。

それなのにこの根本的問題解決の方法は一方に押しのけられて、薬に何億というものが浪費されている。勿論し尿処理が今日明日に解決しようとは思わないがその方向への第一歩を踏み出すことさへしないのが日本の政治であり 地方末端の行政機関であるということだ。

話が又私の専門にそれたが農薬についても農民はもうい、加減でその迷信から覚めてはどうだろう。

これ以上虫共を殺す薬となると 先づ人間様が先に参つてしまう以外にはないのではあるまいか。それならばどうすれば、宜しいか。

こゝで私の様な門外漢が大それた提案をしたい。とかくこういうことは当事者は案外気付かない。鹿を追う猟師山を見ずの例の如く。

虫はこの如くピンピンしている。しかし、彼等は夜私の外灯に集て、死んで行く。

（三面へつづく）

都市生活者より 悪い農民の健康

農村の人たちが、都会の人たちにくらべて健康がおとつているのは、栄養のとりかたが季節によつて片よつているからだと見られている。

農家の健康者が約七十一％であるのに対して、都市生活者は八十％、病気の人は農家が三十％あるのに対して、都会生活者は二十一％で、このように農家の健康状態が劣つていることがわかる。これは豊作で米をたべすぎ栄養がかたよつたのが原因とされている。

とくに目立つのはハダの荒れ症で 一昨年にくらべ昨年は三倍以上も増えていることで、労働時間と栄養のとり方のつり合いがとれるように食生活改善の努力が一段とのぞまれている。

医薬品は信用ある専門店で

▽最近ビタミン剤、強肝剤などを持ち廻り販売している者がありますが、これは薬事法違反であるばかりでなく、正規のルートを通つたものでなく、期限切れや類似品（含有量、薬効低下）などが多いから注意が必要です。

▽後免町の次の薬局では、毎週日曜日の午後六時より閉店休業をします。日曜日には日中にお求め下さい。

▽七月一日より薬業会の規定により 次のものにはラツキーシルを差上げられないことになりました。

薬品全般、衛生用品（体温計、脱脂綿、ガーゼを含む）ガラス製マス、農薬、ミルク、調剤

南国市後免町薬剤師団

中ノ丁川田薬局　薬剤師川田光城
中ノ丁春和堂薬局　薬剤師吉本敏男
中町公文薬局　薬剤師公文源一
東町後免薬局　薬剤師吉本雅一
朝日町西田薬局　薬剤師西田利正

南国市長杯卓球大会

と　き	十月二十一日 午前九時より
ところ	後免野田小学校講堂
参加資格	南国市に在住する者及び市内に職場を有する者
試合方法	硬式団体戦（4シングル・1ダブル）
会　費	一チーム　百円
申込所	後免東町 畠中時計店
申込締切	十月十五日
主催	南国市卓球連盟
後援	南国市教育委員会